



▲気分は狩人!!獲物のタコを一突き

無人島で海水浴や漁業体験

～河浦ニューツーリズム地域事業～

7/23・24
河浦

7月23・24日、宮野河内上平地区の無人島「産島」で宿泊漁業体験が行われました。これは、河浦ニューツーリズム地域事業の一環で、市内の小学生13人が参加。同地区住民の指導を受けながら、船釣りやタコ突き、魚さばきなどを体験。また、夕食時に行われた交流会では、自分たちが捕ったタコなどをおいしそうに食べていました。参加した子どもたちは、無人島での生活がとても気に入ったようで、「来年もまたぜひ参加したい」と話していました。



Treasure Island Topics 宝島の話

天草西海岸の魅力を感じて!

～天草西海岸周遊バス運行中!～

7/25
天草

下田温泉ふれあい館ぷらっとを発着とする「天草西海岸周遊バス」の運行を、7月25日から開始しています。これは、天草を訪れた人たちに、同海岸の美しい景勝地や史跡などのたくさんの“宝物”を地元のガイドが案内することで、天草の魅力満喫してもらおうと実施しているもの。平成22年2月28日までの毎週土・日曜日やイベント期間中に、それぞれ1便ずつ運行します。乗車申し込みなどの詳細は、同館☎03726へお問い合わせください。



▲周遊コースのひとつ「旧庄屋上田家」を散策

芹生の郷づくりを目ざして

～芹生の郷の宣伝塔がお目見え～

7/12
五和

7月12日、手野公民館に「芹生の郷」の看板塔が設置されました。「芹生の郷」とは、手野地区の代名詞のひとつで、同地区に春の七草である“田芹”が多く自生していることから名づけられたもの。手野小学校の校歌でも歌われています。塔のデザインと製作は、同地区で景観づくりなどを行う手野まちづくり振興会・景観デザイナー部の“(てのての)もへじ會”が担当。材料は、鬼の城公園の遊具が再利用されています。皆さん、ぜひご覧ください。



▲設置された宣伝塔と“(てのての)もへじ會”の皆さん



▲久しぶりの演技に少し照れたようすで練習を行うOBの皆さん

往年の名役者が復活!

～青年団OBが「寸劇」の練習～

7/30
新和

小宮地地区振興会では、毎年開催している敬老会で趣向を凝らした演芸を行っています。今回は、新たに地元青年団OBによる「寸劇」を計画。メンバーはかつて、同団の一大イベントである“ふるさとの祭典”で、数々の舞台を演じてきた40歳から50歳までの名役者たち。7月から週2回、公民館で熱の入った練習を実施しています。9月6日㊤に予定している「小宮地地区敬老会」では、“涙あり笑いあり”の名演技で楽しいひとときが期待できそうです。



▲びっしりと張ったつるを返す参加者

“つら返し”で大きく育てカライモ

～生き生き健康農園・カライモのつる返し作業～

7/14
栖本

7月14日、浜地区に整備した「生き生き健康農園」20アールで、カライモのつる返し作業が行われました。これは、栖本地区振興会が、遊休農地の有効利用を図りながら、高齢者の健康や生きがいづくりを目的に実施しているもの。このつる返し、地元では“つら返し”と呼ばれ、生育管理を行ううえで欠かせない作業。参加した老人会の皆さんは、順調に育つつるを返し、久しぶりの作業に時には語らいながら、昔を懐かしむように作業していました。

島伝統の漁を肌で実感!

～地元中学生がとんとこ漁を体験～

8/4
御所浦

御所浦中学校と御所浦北中学校の生徒が8月4日、網の仕掛けが船体に当たる音から名前が付いたといわれる「とんとこ漁」を体験しました。これは、市教育委員会が伝統的な漁法を学ぶことにより、自然の恵みに感謝することを目的に毎年実施。当日は、両校の1年生27人が参加。田中雅義さんら地元漁師の指導のもと、御所浦港から約5km沖合いで、網引きなどを行いました。参加した生徒は、普段できない体験や大漁の魚に興奮していました。



▲一生懸命に網を引くようす

みんなで遊休農地をなくそう!

～ひまわりの種植え付け作業～

7/16
有明

7月16日、上津浦・永田地区の遊休農地20アールに、ひまわりの種の植え付けを行いました。これは、市農業委員会が、遊休農地の有効利用の啓発などを目的に実施。当日は、新和・上島地区の農業委員などのほか、浦和小学校4年生27人が野外活動の一環で参加。参加者は、約3万粒のひまわりの種をていねいに植え付けていました。開花は9月中旬の予定で、10月上旬まで楽しむことができます。皆さん、ぜひご覧ください。



▲ていねいに種を植え付ける参加者